

※ 海業（うみぎょう）は、海に関わる地域資源の
価値や魅力を活用する地域活性化の取組みです

愛南町海業グランドデザイン

うみぎょう※
愛南町は海業で

すべての世代の想いがつながり

共にワクワクする舞台を

実現します!!

令和6年3月 愛南町海業推進会議委員一同

愛南町海業グランドデザイン 策定の理念

若者が戻らず過疎化が進む町
そんな故郷・愛南町を誇りに思っているだろうか？

掘り起こすほど出てくる自然の恵み
食、伝統、文化、そして人財

今の私たちの幸せは、先人方が築き、守ってきた
この魅力と歴史の上に立っている

今を生きる私たちこそ、未来の住人にバトンを渡す当事者だ

全世代がつながる新たなチャレンジ、美しい海や環境を次世代に繋ぐチェンジで

人と自然が紡ぐ私たちの舞台

共にワクワクする愛南町の未来を創り出そう！

地域の宝=地域資源の今と未来のキーワード

体験

- ・食と自然
- ・農林・水産
- ・マリンレジャー
- ・観光船
- ・ぎょしょく

担い手

- ・シルバー人材
- ・未来の子ども達
- ・コンシェルジュ
- ・ガイド、ツアー
- ・ボランティア
- ・地域商社

空間

- ・飲食・宿泊
- ・廃校、空き家
- ・公園
- ・石積み
- ・インターネット
- ・コワーキング

豊かで美しい環境

- ・海ごみゼロ
- ・森と海の循環
- ・再資源化

これら地域資源をつなぎ合わせ、町を輝かせる物語(ストーリー)を推進します！

愛南町海業グランドデザイン 「すべての世代の想いがつながり、共にワクワクする舞台」

※各プロジェクトは例示であり、今後更新されていきます。また、未来の構想やアイデアも含まれます。

地図：国土地理院全国ランドサットモザイク画像



(内海・西海地域)
**愛南町ブルーカーボン
 創出プロジェクト**

(西海地域)
**インバウンド！AINAN
 ツアー生成プロジェクト**

人の繋がり、海から始まる。
 愛南町の魅力を伝える。町を創ろう。



(町内全域)
**愛南ぎょしょくツーリズム
 プロジェクト**

(町内全域)
**愛南町盛旬満喫
 スタンプラリープロジェクト**

食べて楽しんで
 スタンプGET
 抽選で特産品
 プレゼント

20th ANNIVERSARY
 AINAN SEASONAL MARKET
 STAMP RALLY 2024



「愛南町ブルーカーボン創出」プロジェクト

ウニッコリー

ブロッコリーを食べるガンガゼ

沿岸域の藻場



真珠母貝養殖筏（幹縄筏）



幹縄筏に繁茂する海藻

【活性化スキーム】



外部から所得を獲得
(バケツの水を増やす)

町内の取引を拡大
(バケツの穴を塞ぐ)

【体制】

漁協、漁業者、愛媛大学と愛南町、愛南の藻場を守る会との協働

直近のスケジュール

	～令和6年度	7年度	8年度	・・・
藻場回復事業 (ウニッコリーの生産)	▶ (毎年11月～6月)	▶	▶	▶
生産事業の自立自営化	▶▶▶▶▶	▶▶▶▶▶	▶▶▶▶▶	▶▶▶▶▶
Jブルークレジット®認証 範囲拡大	▶▶▶▶▶	▶▶▶▶▶	▶▶▶▶▶	▶▶▶▶▶
Jブルークレジット®購入 希望者の公募 (5年度分)	○ (～4月)			

【目的】町内沿岸域で衰退している藻場の回復を図るため、要因の一つであるガンガゼウニを適正密度に保つこと、真珠養殖筏に繁茂する海藻で取得したJブルークレジット®認証の範囲を拡大することで、海中の炭素吸収源を増加させる。これにより、真珠母貝養殖業全体の活性化を図るとともに、特産品を提供することで、町内水産物全体の付加価値向上を目指す。

【想定する事業内容】

ガンガゼウニを駆除すると同時に畜養し、愛南町の特産品ブロッコリーと、河内晩柑の廃棄部分を給餌することで、ウニッコリーとして生産・販売する。また、ウニッコリーの生産・加工体験を来訪者に提供することで体験料収入を得るとともに、事業実施の外部化を図り、外部所得を獲得する。さらに、「未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～」として認証されたJブルークレジット®の維持・拡大を図り、得られたクレジットを海業に使うことで、更なる取組を促進する循環を生み出す仕掛けを構築する。

【背景】脱炭素化社会に向けた取組を促進させ、町内全体を活性化させる取り組みが求められている。

【実施場所】ウニッコリー生産場（西海地域）
真珠母貝養殖場（主に内海地域）

【手法】

ガンガゼの駆除については試験区を設定し、駆除作業とともに、海藻種苗や母藻の投入も同時に実施して、藻場造成の効果を測る。駆除したガンガゼの一部をウニッコリーとして活用し、生産効率や品質向上に関する調査・分析を実施するとともに、適切な事業実施主体の育成と生産拠点の獲得により、事業の自立自営を図る。Jブルークレジット®認証については、令和5年度に内海地域の家串湾内の真珠母貝養殖筏に繁茂する海藻にて取得したため、同様の調査（ドローンによる空撮、画像解析、単位面積当たりの湿重量の計測等）を家串湾以外の地区でも実施することにより、クレジット対象範囲の拡大を図る。

クリーンオーシャンプロジェクト

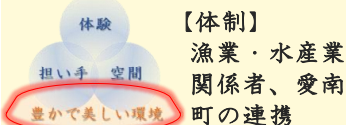


【活性化スキーム】

外部から所得を獲得
(バケツの水を増やす)

大前提

町内の取引を拡大
(バケツの穴を塞ぐ)



【内容】愛南町内に漂着するごみは、生態系への悪影響や景観の悪化につながる。このため、来訪者に選ばれる町になるためにも、海洋環境保全と美化に取り組まなければならない。ボランティアをベースとしつつ、委託事業も活用しながら、愛南町内の沿岸部に溜まっているごみを回収・処理に取り組む。

海の免許合宿：海に関するライセンスは愛南で



【活性化スキーム】

外部から所得を獲得
(バケツの水を増やす)

町内の取引を拡大
(バケツの穴を塞ぐ)



【内容】現在実施されている小型船舶免許講習や、スキューバダイビングライセンス取得コースなど海に関するライセンスをまとめて取得できる合宿を企画。合宿期間中に滞在する旅館やホテルへの宿泊、地元の飲食店の利用を促し、外部からの所得増加を図る。

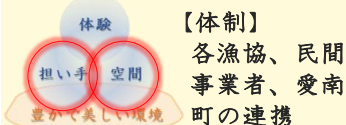
水産物生産、仲卸、小売、飲食コミュニティの構築



【活性化スキーム】

バケツの水を増やす
(外部から所得を獲得)

バケツの穴を塞ぐ
(町内の取引を拡大)



【内容】水産物やその他の食品を取り扱う生産から加工・流通、小売、飲食等の事業者が定期的集まるコミュニティを構築し、それぞれの強みを生かし、連携することによる新たな商品開発や、販路の開拓等に取り組む。直売所の設置なども想定される。

【その他議論した内容のうち重要と位置付けられたもの】

- ・海の生物を自分で採って学ぶエコツアーの造成（子供向け、大人向け）
- ・都会の小学生向けサマースクールの開講（海の生物を利用した体験教育）
- ・愛南町版キッズニア（一次産業を含めた子供の職業・商業体験）

空間

体験

- ・廃校を活用した宿泊施設、水族館等の整備、古民家の改修
- ・愛南町の写真や、漁業・養殖業の資料を展示・保存する海の博物館の整備
- ・廃棄水産物を肥料化するなどの再資源化施設の整備

担い手

- ・体験やガイドのメニュー化による着地型観光の構築
- ・飲食・宿泊、アクティビティ運営事業者のネットワークング（おもてなし体制）
- ・天候不良で体験が中止になった場合のアフターケアの充実

- ・若者向けの就業機会・雇用の創出や居住環境の整備
- ・海ごみの無い美しい海のまち愛南町の実現（何度も来たいと思える町）

豊かで美しい環境

浦崎 慎太郎 (浦崎真珠)	大石 常也 (遊漁船業)	大野 甲子彦 (株)大野新聞/TMKstudio)	大森 安洋 (愛南町商工観光課)	河野 仁 (マルエムフルーツアイランド)
凝地 世矢 (有)凝地)	後藤 理恵 (愛媛大学)	佐伯 謙 (南宇和金融協会)	澤近 圭亮 (愛南漁業協同組合)	関根 麻里 (元地域おこし協力隊)
高橋 翔 (西海観光船)	田中 純樹 (愛媛CATV愛南局)	田中 翔 (合同会社DIVE愛南)	永元 将博 (食品加工業)	濱 哲也 (愛南町水産課)
浜辺 隆博 (愛南町海業推進室)	濱本 涼 (久良漁業協同組合)	深掘 毅 (株)グリーンエンタープライズ)	前田 眞 (愛媛大学)	向田 和広 (有)向田水産)
森 裕之 (ゲストハウスカイトク舎)	山本 正文 (愛南町環境衛生課)	ヤング 亜由美 (愛南町商工会)	李 銀姫 (東海大学)	若松 隆仁 (長月小学校)

会議発足からのグランドデザイン策定までの流れ

	令和5年 ～6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和6年 1月	2月	3月
委員公募、決定 事前アンケート実施	▶									
海業推進会議 (全体会)		第1回 27		第2回 20			第3回 13	第4回 31		第5回 13 ★
海業推進会議 (運営委員会)			●		●		● ●	● ● ● ● ●		
スピンオフ会					27			23	28	30

グランドデザイン公表